

Kankyo shimbun

環境就職ナビ
2022 ガイド

発行所 株式会社環境新聞社 © 環境新聞社 2021
東京本社 TEL (03) 3359-5371 FAX (03) 3351-1939
〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-1-3 (第 1 富澤ビル)
大阪支社 TEL (06) 6252-5895 FAX (06) 6252-5896
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 3-1-15

新規購読用 (0120) 1972-65
http://www.kankyo-news.co.jp/
振替口座 00150-5-20286
年間購読料 2,4000 円 + 税

総合水事業会社

水ing



採用情報はこちら ▲

環境就職、の心得

——脱炭素社会への転換進められる人材が不可欠

株式会社エコジョブ・ドットコム
代表取締役

根岸 弥之

はじめに

環境就職、を始めるに当たり、2015年国連総会にて採択された、世界が進むべき方向性「SDGs」と、同年パリでの世界196カ国による気候変動の抑制に向けた合意の「パリ協定」、そして2021年米バイデン政権誕生が決定的となった世界全体での「脱炭素」社会へのパラダイムシフトの3つを理解する必要がある。SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略で、2030年に向けた「持続可能な開発へ世界を変革する行動計画と具体的な行動指針」のことだ。17の目標からなるが、その中で主に環境に関するものが、「全世界に安全な水とトイレ」「住み続けられる都市」「持続可能な生産・消費」「気候変動への対策」「海洋の保全」「生態系・森林の保全」の6つとなる。

パリ協定、脱炭素の動きでは、世界でカーボンニュートラル(温暖化ガス排出の実質ゼロ)等の具体的な目標を掲げる国や企業が相次いでいる。欧州連合(EU)、米国、日本が2050年、中国も2060年までを達成目標とした。日本は目標達成のために、14分野のグリーン成長戦略を発表した。

企業の動きも目覚ましく、米国アップル社は2018年にカーボンニュートラルを達成、2030年までに全てのサプライチェーンにもカーボンニュートラルを求めることを決定、ヤフージャパンも使用電力を2023年度までに全て再生可能エネルギーに切り替えると発表、経団連の中西宏明会長は「脱炭素を優先、気候変動が経済環境も壊しかねない」と公言した。

日本は環境技術が高いと言われるが、これは省エネ分野に限られたことではない。明治時代の急速な工業化や

第二次世界大戦後の高度成長では深刻な公害が発生し、それらを環境技術の進歩によって克服してきた。ごみ問題、上下水道の技術やそれに伴う環境分析や調査の技術も高まった。これら日本の環境技術の歴史に、SDGsやパリ協定の世界の新しい潮流、日本の政策を取り込みながら、幅広い業界や分野に点在する現在の環境の仕事を分類する。

1. 環境の仕事の4大分類

ここではまず環境に関わる仕事をその組織母体の形態から(1)環境ビジネス(民間企業)系、(2)公務員系、(3)NGO・NPO系、(4)その他(アカデミックや専門職等)の4つに大きく分類する。その中で(1)環境ビジネス分野を、さらに業種によって10分類。環境ビジネスの業種や会社は、一般的な業種分類の中に広くまたがっており、分かりにくい点があるので、ここでは特に詳細に記すこととする。

- (1) 環境ビジネス10中分類(民間企業)
- (2) 公務員系：国、地方公務員、独立行政法人等、公益法人、国際公務員等
- (3) NGO・NPO系：地域～国際環境NGO、環境NPO、一般社団法人等
- (4) その他：大学等研究機関、環境系の弁護士、メディア等の専門職等

2. 環境ビジネス各分野の現状&将来

a. 公害防止

工場等から排出されるPM2.5等の大気汚染の防止や排水処理等、公害汚染を防止する機械、プラント、製品等の産業。海外ではend of pipe産業とも言う。日本はかつて工業化に伴い深刻な公害が発生し、苦難の上に生まれた環境技術。工場の動きとも深く関わるので、日本の経済(GNP等)や工業の動きと連動しやすい。

b. 環境アセスメント

日本の建設コンサルティング業界に属する。公共事業に伴う設計、環境調査、環境アセスメントが多いので、国の公共事業の予算に左右されやすい。赤字建設国債による未曾有の財政出動やオリンピック景気で現在は活性化と共に人手不足の状況。

(2面へつづく)



SDGs の 17 目標のうち主に環境に関するもの

EcoJob
www.ecojob.com

おかげさまで21年目

・・・日本で最初の環境分野専門 人材紹介会社・・・

EcoJob
www.ecojob.com
株式会社エコジョブ・ドットコム

“環境人材バンク 全国 15,398 人(日本最大)、登録受付中!”

株式会社エコジョブ・ドットコム
【厚生労働大臣認可番号13-08-ユ-0275】

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-9-12
Tel: 03 - 3353 - 7762 E-mail: e@ecojob.com

c. 環境分析

地方自治体や環境省による大気や水質の定期調査や各施設、民間工場から排出される排水や大気汚染物質の分析、震災後は食品や農林水産物の放射性物質の分析業務が増加。業界全体として日本のGNPの動きとも連動しやすい。

d. 再生可能エネルギー・省エネルギー

震災後の2012年以降は、固定価格買取制度等による「再生エネルギー利用」の急成長に伴い、「クリーンエネルギー」分野の市場規模が大きく増加。日本のグリーン成長戦略でも、電気自動車・蓄電池産業、洋上風力産業等が特に優遇されている。

e. リサイクル&廃棄物処理

日本は工業立国からサービス業等の第3次産業の割合が増え、必然的に廃棄物処理も減少し、安定ながらも緩やかな下降線の業界だが、リサイクル技術の向上やリサイクル意識の高まりは上昇し続けているので、気鋭な成長企業も少なくない。AIやIoTを使った無人分別プラントを開発する協会も立ち上がっている。業界全体として日本のGNPの動きとも連動しやすい。

f. 上下水、環境浄化&再生

土壌汚染浄化は工場跡地のマンション化等土地の取引が活発になると浄化件数も増えるが現在は需要も一服傾向。都市緑化、屋上緑化、工場緑化は省エネの観点からも増加傾向。ビオトープはそもそも市場自体が小さい。放射能汚染に対する浄化や減容化技術も高まっている。上下水道業界は、民営化を推進する法律等整備により、外資系企業が参入しやすい状況へ。

g. オーガニック

消費者の安全志向の高まりから有機農産物の需要は高まる一方で、それに伴う農家や商社も上昇傾向。

h. エコマテリアル&プロダクツ

環境調和型材料・製品の製造・販売。「低燃費・排出認定車」・「ハイブリッド自動車」等の成長をはじめ、自動車業界のみならず、全ての分野で省エネ、環境配慮、健康、有害物質の不使用に配慮した製品が拡大中。リチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏もエコプロダクツを開発する意識だったと授賞式でスピーチ。

i. グリーンハウス&ビルディング

環境省の重要施策がネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化等による住宅における低炭素化促進事業であり、一歩進んでいるネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング（ZEB）においては、すでに多くの地域で成功している。ビル施設の電気や空調システムの省エネ化も著しい。また建物の長寿

命化で「スクラップ&ビルド」型社会から省資源社会に脱却へ。

j. その他

ESG投資（投資先の会社に環境、社会、企業統治の3つの要素を考慮した投資）。日本の年金積立金管理運用独立行政法人は、ESGに積極的に取り組んでいる会社への投資に乗り出す準備を発表。大手米資産運用会社は、全ての企業に対し2050年までに温暖化ガス排出の「ネット（実質）ゼロ」の達成計画を打ち出すよう要求。世界全体におけるESG投資残高は約2580兆円だ。

3. 環境業界の業種と会社の絞り方

(1) 環境分野の全体把握

環境問題の把握、どのような地域環境問題、地球環境問題、人や生物への問題等があるのか。環境分野には、具体的にどのような業界、団体、会社、仕事があるのか。

(2) 自分の興味、やりたい事の確認

何時から環境に興味を持ったのか、何がきっかけだったのか。どの分野に興味や問題意識があるのか。将来どの分野の環境問題をどの立場で改善したいのか。

(3) 業種や職種、会社の絞り込み

環境分野において業界、職種、会社を絞り込むには、まず絞り込む「観点」を決めることが重要。

- 環境分野の中でどの立場から仕事をしたいのか（民間、NPO、公務員、アカデミック等）。
- 自分の興味だけでなく、特に職種においては、自分の得意不得意、適性等はあるか。
- 業界の中で、大企業等安定志向の会社か、ベンチャー志向の会社か。
- 環境理念先行型の会社か、ビジネス先行型の会社か。
- 会社の社長や創業者の理念、信条、技術への共鳴を重要視するか。
- 早くから裁量や意思決定のできる環境を選ぶか。
- 英語や外国語を使う仕事か。
- 海外出張、海外赴任のある会社か、希望するか。
- 国内外での勤務場所、転勤の有無。
- 自分のアカデミックバックグラウンドが職種で通用するか。
- 会社でどの職種を希望するか。

※環境会社においては、どの職種でも、その会社の事業が地域環境、地球環境の改善に貢献してれば、その会社に貢献することによって、間接的に地域環境、地球環境に貢献することになる。

4. 環境就職でよくある疑問

HPの印象と企業の実態について
ホームページのセンスの良さと会社のセンスの良さは関係している部分もあるが、環境分野の企業においては、

環境ビジネス（企業）系10分類

a. 公害防止 大気（PM2.5等）、工場排水処理、騒音、振動、悪臭等々の機械、プラント等 旧公害対策基本法7公害汚染防止業務	b. 環境アセスメント 自然&生活環境の調査、設計、計画、アセス等の主に建設コンサルティング業の環境部署での事業
c. 環境測定分析 大気、水質、土壌、食品、アスベスト、シックハウス、放射性物質、騒音、振動等の測定分析業務	d. 再生可能エネルギー 太陽光/熱、風力、バイオマス、地熱、中小水力発電等の固定価格買取制度での再エネ発電事業
e. リサイクル&廃棄物処理 廃棄物や自動車、家電、食品、建設等リサイクル。リユース市場拡大。収集、運搬、適性処理&処分	f. 上下水、環境浄化&再生 上下水道。土壌汚染調査/浄化。アスベストや放射性物質の除染。緑化全般。河川、湖沼等の再生
g. オーガニック 有機農産物、加工食品、畜産、有機飼料、飲料・酒類からコットン、化粧品等の生産、流通、商社、小売り、外食まで。持続可能な水産や森林認証も含む	h. エコマテリアル&プロダクツ 鉛フリーはんだ、生分解性プラスチック、LED、光触媒、炭素繊維、脱硝触媒、植物インク、蓄電池、低燃費低公害自動車、省エネ、日常品等
i. グリーンハウス&ビルディング 省エネ住宅、スマートハウス、省エネビル設備 長寿命化、HEMS、BEMS、ZEB、ZEH、屋上・壁面・敷地緑化、コジェネ、地中熱、ESCO等	j. その他 環境コンサルティング（シンクタンク系、環境マネジメント系、IT系、国際系等） 環境金融（ESG投資等）、環境メディア、環境人材等

- 主にB to B企業のため一般にはあまりに知られていない
- 環境分野の幅の広さの理解は、将来環境ソリューションにも役に立つ

環境技術や経営が立派でも、HPに力を入れていない会社も少なくなく、また反対に中身の薄い会社でもHPだけ立派な会社もよく見かる。

- 良い環境会社を見極めるポイント
HPでよく見ることは事業内容と会社の沿革、そして調べられる範囲で離職率（会社四季報等）。良い会社はやはり離職率が低い。採用ばかりしている会社は、事業拡大中あるいは離職率が高い、のどちらかで、残念ながら後者が多い。
- 新卒文系出身の環境の仕事
地域あるいは地球環境の改善に貢献している会社では全ての職種が環境の仕事と言える。
- 競争率が高い会社へ応募の注意点
環境業界はBtoB型のビジネススタイルなので、会社名が知られていなくても、優良な会社はたくさんある。ネットやメディアで名前のみが有名に先行した会社は、特に競争率が高くなる。
- 環境経営のしっかりしている会社の調べ方
会社が自ら発信するCSR（環境）報告書や外部評価のESGランキング等があるが、どれにしても、具体的に何をもとに、あるいは基準に評価しているのがが大事。
- 環境分野企業の平均年収
業種によって大きな違いがあり、決して高い水準ではないが標準レベル。税金による政府、あるいは寄付によるNPO等と違い、市場の中で採算が取れる事業が環境ビジネスの定義の一つ。

おわりに

環境就職、では、環境理念、ビジネス、社風、待遇等のバランスの中で、希望の業界、会社を探すのが第一だが、環境に対する社会貢献や自己実現は、環境就職のみならず、NPO・NGO、個人、地域、社会活動でも可能なので、環境就職にこだわり過ぎないことも大事だ。

また急速なSDGsや脱炭素社会へのパラダイムシフトには、大きな懸念事項もある。例えば日本政府は新車の電動自動車販売化を、2035年までに公言したが、全世界で一気に自動車を電動化販売した場合、製造に使われるレアアースやリチウム等、資源の安定確保は可能なのか。また石炭等の化石燃料に関わる産業や、一世紀以上産業界の中心だったエンジン等の内燃機関関連産業の衰退、雇用の縮小等で社会安定が損なわれる心配もある。

社会の不安や不満が高まった場合、米トランプ政権の誕生のように、極端な反脱炭素の政権や潮流が生まれ、社会の分断や不安が起こるリスクもある。

今後10年が脱炭素をベースとした新しい経済社会システムの構築時期となるが、これらリスクも把握し、かつ脱炭素社会へのパラダイムシフトを冷静かつ的確に推し進められる人材が環境業界には不可欠となる。

環境就職、を希望する意欲と能力のある学生が、一人でも多く適材適所の環境会社や職種と出会い、その役割を担って頂くことを願っている。

負の遺産を後世に残さない 明るい未来を

アス・プランテック株式会社



As★Plan Tec
アス・プランテック株式会社



<http://asplantec.com/>

◎会社紹介

■業種 商社

■業務内容

- ・建築現場に必要な機材の販売、レンタル
- ・有害物質除去に付帯する業務のコンサルタント
- ・環境対策商材の販売、提案・企画
- ・省エネ事業

■会社概要

負の遺産を後世に残さないためにー。
弊社は有害物質除去に必要な商品、技術、サービスを現場の皆様にご提案させて頂く専門商社です。

日々更新される法律等に配慮し、有害物質除去に対して必要な措置や方法、適切な商品をご提案する業務を行っております。

人体に害を及ぼす有害物質を将来に残すことを未来への債務と考え、業界団体の知識と情報を結集し、環境債務ゼロを目指す「リーディングカンパニー」となれるよう日々活動しております。

弊社の仕事の先には高速道路をはじめとするインフラメンテナンスなどの公共事業や、都市環境をより良い形で未来へと継承していく仕事がつながっています。より高く自身を成長させ、世界を上げることができる仕事環境を弊社は準備しております。

また、昨年度より、新卒採用制度を導入し、弊社はこれから新たな若手社員の拡充に力を入れていきます。まだまだ12期目のベンチャー企業の側面と、堅実な商社としての側面を併せ持つやりがいのある企業です。環境問題に対し、自身の力で未来をより善くしたいと願う若手の人材を弊社は募集しております。

■本社 大阪府堺市中央区深井清水町3485-1

■設立 2006年

■資本金 500万円

■従業員数 40名

■売上高 12億円

■代表者 代表取締役 菊池善隆

■事業所 大阪本社、東京営業所、福岡営業所、名古屋営業所、仙台営業所

■沿革

2006年 本社設立

2009年 東京営業所設立

2012年 放射性物質除染ロボット開発

2013年 住宅エコポイント、木材エコポイント事業参入

2014年 ツーノズルバキュームプラスト機開発・販売

2015年 事業拡大のため本社移転

2016年 放射線遮蔽袋開発・特許取得、インフラメンテナンス国民会議参画

2017年 事業拡大のため東京営業所移転

2000年 名古屋営業所設立、仙台営業所設立



インターン活動も充実しております！

採用情報

■職種 総合職

■勤務地 大阪本社、東京営業所

■勤務時間 9時～18時

■給与 240,000円

■諸手当 交通費支給、報奨制度有り

■昇給 年1回

■賞与 年3回(業績による)

■休日・休暇 週休2日(月2日程土曜日勤務)

■福利厚生 各種社会保険、各種任意保険、報奨制度(業務褒賞など)、忘年会、社員旅行

■採用実績人数 2019年度4名、2020年度3名、21年度1名、本年度3名予定



大阪本社社屋

お問合せ先

■郵便番号 599-8273

■住所 大阪府堺市中区深井清水町3485-1

■担当部署 IMS推進部

■担当者 岡部敦史(おかべあつし)

■TEL 072-278-8700

■e-mail okabe-a@asplantec.com



清涼感ある明るい事務所フロア

ITで環境問題に挑む



ITで環境問題に挑む

JEMS
Japan Environment Management System

株式会社 JEMS

<https://www.j-ems.jp/>

◎会社紹介

■業種 IT(Web/ソフト/システム)

■環境分類 その他

■業務内容

- ・廃棄物処理業者向け基幹システム構築・販売
- ・排出事業者向け環境コンプライアンスサービス
- ・公共インフラ事業向けITソリューション・サービス

■会社概要

「最後の成長産業」と言われる環境ビジネスは、国内外の市場において未だ未成熟で成長過程にあると言われています。当社は設立以来一貫して、この環境ビジネスとITを結び付け、事業を拡大して参りました。取引先は中小企業から大手メーカー、大手外食産業、官公庁や自治体などで、資源循環管理ソフトとして業界のトップクラスシェアを獲得し、循環型社会の構築に貢献しています。またグローバルな展開として、ベトナムに開発拠点となる現地法人を設立、タイにも事業進出。新たな事業展開、そして社会に貢献できるフィールドが当社にはあります！

■本社 〒305-0033 茨城県つくば市東新井31-13

■設立 1994年4月1日

■資本金 100,000千円

■従業員数 270名(国内のみ)

■売上高 31億円(2020年9月期)

■代表者 代表取締役 須永 裕毅

■事業所

国内：つくば本社、東京事業所、京都事業所、福島事業所、名古屋営業所、福岡営業所、東北インテグレーションセンター、JEMS BPOセンター

海外：中国1拠点(杭州)、ベトナム2拠点(ホーチミン、クイニョン)、タイ1拠点(バンコク)



勤務風景



JEMS外観および内観



勤務風景2

採用情報

■職種 総合職(営業、企画、システムエンジニア、プログラマー、カスタマーサポート、運用サポート、管理)

■勤務地 茨城県つくば市、東京都千代田区/その他国内事業所

■勤務時間 9時～18時(休憩12時～13時)

■給与 ◇院卒基準 月給208,000円

◇大卒基準 月給201,600円

◇短大・専門卒基準 月給193,600円

(残業手当は別途支給)

■諸手当 通勤手当、業務手当、テレワーク手当、時間外手当、家族手当

■昇給 年1回

■賞与 年2回(6月、12月) ※賞与合計:約月給5カ月分(2020年実績)

■休日・休暇 週休2日制(土曜日、日曜日)、祝日、年末年始休暇…年間休日124日(2020年実績)、年次有給休暇(初年度10日付与、年間5日以上取得義務)、慶弔休暇、産前産後休暇、育児休業、介護休業

■福利厚生 各種社会保険完備、表彰制度、健康診断、退職金制度、MBO評価制度、職位制度、リファラル採用制度、各種レクリエーション、研修補助制度、引越費用補助

■採用実績人数 2018年度8名、19年度10名、20年度8名

お問合せ先

■郵便番号 305-0033

■住所 茨城県つくば市東新井31-13

■担当部署 組織戦略室

■担当者 粟井(あわい)・井上(いのうえ)

■TEL 080-8873-3266

■FAX 029-863-7216

■e-mail jinji@j-ems.jp

■求人用URL <https://www.j-ems.jp/recruit/>

日本の下水道インフラを守る



管清工業株式会社

<https://www.kansei-pipe.co.jp/>

◎会社紹介

■業種 下水道管路維持管理業

■環境分類 上下水、環境浄化&再生

■業務内容

私たち管清工業の業務は、人々の生活に欠かすことのできないライフラインの一つ、下水道のトータルメンテナンスです。建物等の排水設備や公共下水道施設の点検・調査・清掃・補修等を行っています。全国に20箇所を超える事業所ネットワーク網を整備し、下水道施設の機能を常に安定した状態に保ち、安全で快適な生活環境を陰ながら支えています。

■会社概要

当社は、市民生活に無くてはならないインフラである下水道管路の維持管理に特化した会社です。老朽化が進んでいる今の下水道を、豊富な経験と最先端の技術で守る、非常に社会貢献度の高い仕事です。

■本社所在地

東京都世田谷区上用賀 1-7-3

■設立 1962年10月

■資本金 2億5,000万円

■従業員数 504名

■売上高 148億6,137万円

■代表者 代表取締役 長谷川 健司

■事業所

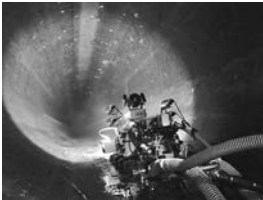
東京、神奈川、愛知、大阪、九州他全国

■沿革

- ・1962年10月4日 日米産業(株)（現㈱カンツール）の工事部門より、独立し設立
- ・1968年 下水道管きょ内専用の高圧洗浄車を導入
- ・1970年代後半 地下管路のマネジメン

ト・サービスに威力を発揮するテレビカメラの技術開発に成功

- ・1990年 ビークル開発
- ・1994年 大口径管路調査機ビークル後継機ビーバー開発
- ・2000年2月 ISO14001 認証取得に伴い、環境保全活動を開始。2007年6月からはCSR活動を開始
- ・2007年 大口径管路調査機グランドビーバー（自走式）開発。2009年にはグランドビーバー・フロート開発
- ・2007年4月 管路管理総合研究所を設立
- ・2009年1月31日 第1回国土交通大臣賞を民間企業の活動として唯一受賞
- ・2015年9月29日 ISO55001の認証を取得
- ・2016年7月11日 代表取締役・長谷川健司が建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞
- ・2018年『KPRO』が第11回国土交通大臣賞『循環のみち下水道賞』アセットマネジメント部門を受賞
- ・2019年 上水道管更生技術を所有する企業と業務提携を結び、上水道管路管理に着手



無人清掃ロボット
『グランド・スウィーパー』

採用情報

■職種 総合職（現場施工職、営業職、技術職）

■勤務地 東京、神奈川、愛知、大阪、九州 他全国各支店・営業所

■勤務時間 平日：8時30分～17時30分

（現場施工職はこの限りではありません）

■給与 大学院卒216,100円、大学・専門（4年）卒203,700円、短大・高専・専門（2年）卒193,550円

■諸手当 職務手当（営業・工事）配偶者手当、時間外手当、通勤手当、管理職手当、奨学手当

■昇給 年1回（業績による）

■賞与 年2回 6月・12月（前年実績7カ月）

■休日・休暇

・完全週休2日制、国民の休日、夏期休暇、年末年始休暇、年間休日127日（2021年度）

・年次有給休暇：初年度10日（最高20日）※現場施工職は現場施工条件に合わせるため、休日や夜間の出勤があります（代休・振替休日にて休暇を取得）・その他の休暇（育児・介護休暇、子の看護・育児目的休暇、ボランティア休暇、慶弔休暇等）

■福利厚生

各種社会保険完備、社員寮社宅制度、総合福利厚生サービス加入、永年勤続表彰、弔慰金制度、団体3大疾病保障保険加入、確定拠出年金制度、慶弔見舞金制度、従業員持株会、従業員共済会、クラブ活動、保養所、退職金制度他

■採用実績人数 2018年度18名、19年度14名、20年度18名

お問合せ先

■郵便番号 108-0073

■住所 東京都港区三田3-13-16
三田43MTビル7階

■担当部署 管理本部人事課

■担当者 佐度（サド）・峰岸（ミネギシ）

■TEL 03-5730-2882（直通）

■FAX 03-5730-2880

■e-mail info-kyujin@kansei-pipe.co.jp

■求人用URL <https://recruit.kansei-pipe.co.jp/>



現場施工職 仕事の様子

「はかる・みる・まもる」の視点で 環境問題解決をトータルサポート



株式会社日吉

<https://www.hiyoshi-es.co.jp/>

◎会社紹介

■業種 環境保全サービス業

■業務内容

- ・環境試料や食品などの分析・測定業
- ・インフラ施設の維持管理業
- ・廃棄物収集運搬・処理業
- ・道路維持管理業
- ・工業薬品販売業
- ・各種清掃業 他

■会社概要

創業65年、「社会立社・技術立社」を社是に、時代の兆しをつかみ、世の中のニーズからビジネスチャンスをつえ、未来につなげてきた歴史と技術があります。

90の許認可と2,000あまりの有資格者を保有し、全ての事業をワンストップで対応できる課題解決型の環境トータルサポート企業です。

地域社会との関わりを大切に、小学生向けの環境教育、インターンシップ、地域活性、災害支援など社会貢献活動に注力してきました。

また、1989年から、約36カ国1,000名の海外研修生を受け入れ、技術者派遣も行ない国際貢献から海外事業化へ展開を進めてまいります。

■本社 滋賀県近江八幡市

■設立 1958年12月23日

■資本金 2,000万円

■従業員数 325名

■売上高 75億円（2019年実績）

■代表者 代表取締役社長 村田弘司

■事業所 支店／東京・横浜・大阪

■沿革

1955年 創業

1958年 有限会社日吉更生社設立

1960年 浄化槽維持管理、廃棄物処理、水質・大気

測定分析、環境コンサルタント、建築物総合管理請負等環境整備保全業務開始

1965年 日本道路公団より名神高速道路水質管理委託受託

1969年 医薬品・工業薬品（毒物・劇物）販売業務を開始

1994年 株式会社日吉に改組

2002年 衛生検査所登録

2004年 食品衛生法登録検査機関

2005年 ダイオキシン類対策特別措置法にてケイラックス®アッセイが公定法に認可

2009年 グループ会社「㈱湘南分析センター」設立

2011年 インドに現地法人「日吉インディア」設立

2012年 社会福祉法人さくら会「さくらっこ保育園」設立支援

2013年 オンライン検査電子報告システム「アナレポート®」サービス開始

2015年 認定職業訓練事業所「日吉塾」設立

2017年 経済産業省「地域未来牽引企業」選定

2018年 経済産業省「高度外国人材活躍企業50社」選定

2018年 アメリカに現地法人「XDSI」設立

2019年 将来世代応援企業賞受賞

2020年 健康経営優良法人2020に認定

2020年 環境づくり企業大賞2019奨励賞を受賞



インド現地法人とのオンライン会議

採用情報

■職種 分析研究職、施設管理技術職、営業職（総合・薬品販売）、総務総合職（人事・労務・広報）、システムエンジニア

■勤務地 各事業部門（滋賀県内、近畿・東海・関東圏の各営業所所在地）

■勤務時間 基本8時15分～17時15分（部門別各勤務形態に準ずる）

■給与 大卒205,000円、院卒215,000円

■諸手当 家族・役職・作業・宿直手当あり

■昇給 年1回

■賞与 年2回（7月・12月）※実績により3月期末配当あり

■休日・休暇 年間休日109日・有給計画付与日5日（2020年度実績）※入社3カ月で有給10日付与致します

■福利厚生 各種社会保険等完備、作業服貸与、資格取得支援制度、全社懇親会 他

■採用実績人数 2018年度11名、19年度11名、20年度11名

お問合せ先

■郵便番号 523-8555

■住所 滋賀県近江八幡市北之庄町
908番地

■担当部署 総務部総務課

■担当者 橋本侑季（はしもとゆき）

■TEL 0748-32-5111

■FAX 0748-32-3339

■e-mail y.hashimoto@hiyoshi-es.co.jp

■求人用URL

<https://www.hiyoshi-es.co.jp/recruit>

（㈱湘南分析センター同時募集！）



1兆分の1gを測る分析技術



水処理施設の維持管理

夢を架け 空間を創る



株式会社駒井ハルテック

<https://www.komaihaltec.co.jp/>

◎会社紹介

■業種 風力発電設備の設計・製作・据付・メンテナンス、太陽光発電設備のエンジニアリング、橋梁・鉄骨・その他鋼構造物の設計・製作、風力発電売電事業等

■環境分類 再生可能エネルギー・風力発電設備・太陽光発電設備

■業務内容

駒井ハルテックでは、発電容量が300kWの中型風力発電設備の設計から、製造・据付、運転開始後のメンテナンスまで一貫して手がけています。

日本特有の厳しい気象環境、地震・落雷などにも耐えながら、安定して発電しつづける風力発電機というコンセプトのもと設計・製造しており、その中でもブレードについては、(小型風車を除き)国内で唯一自社工場にて製作しています。

上空式ソーラー発電システムの他、大型風車のブレードメンテナンス及び洋上風車建設用クレーンの開発等も手掛けており、今後も、国内外で再生可能エネルギーの普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現へ貢献していきます。

■会社概要

当社は永年にわたり橋梁・鉄骨など鋼構造物の製造・建設に携わり、安全で高品質な製品を供給するメーカーとしての地位を築いてまいりました。

今後も関東と関西に保有する主力工場をはじめとする経営資源を最大限に活用し、技術力を結集した効率的な事業運営を目指し、橋梁事業、鉄骨事業、環境事業を通じ社会基盤整備の一翼を担う企業として自覚と責任を持った経営を行ってまいります。

■本社所在地 〒110-8547 東京都台東区上野 1-19-10

■設立 1943年4月30日

■資本金 66億1,900万円

■従業員数 520名(2021年1月現在)

■売上高 354億円(2020年3月現在)

■代表者 代表取締役社長 中村 貴任

■事業所 大阪本店、札幌営業所、東北営業所、群馬営業所、名古屋営業所、和歌山営業所、中国営業所、九州営業所、富津工場、和歌山工場、大阪事業所、松戸テクニカルセンター

■沿革

- ・2010年(平成22年)10月01日 駒井鉄工株式会社と株式会社ハルテックの合併により設立
- ・2012年(平成24年)10月29日 大阪市西区立売堀に、本店を移転

上記は合併後の沿革のみ掲載しております。旧2社の詳細な沿革は以下よりご覧いただけます。

◆会社HP ―― 沿革

<http://www.komaihaltec.co.jp/corp/history.html>



KWT300 設置事例
(フィリピン ロンブロン島)

採用情報

■職種 技術系 設計、製造、施工、技術開発
事務系 営業、総務、人事、財務、経理

■勤務地 東京本社、大阪本店、富津工場、和歌山工場、松戸テクニカルセンター、大阪事業所(再生可能エネルギー事業を手掛けるインフラ環境事業部は、原則、大阪事業所および松戸テクニカルセンターで勤務)

■勤務時間

東京本社・大阪本店・松戸テクニカルセンター・大阪事業所

8:50～17:40(昼休12:00～12:50)

富津工場 8:30～17:20(昼休12:00～12:50)

和歌山工場 8:15～17:00(昼休12:00～12:45)

■給与 大学院了 233,000円(2022年4月予定)

大 学 213,000円(2022年4月予定)

高 専 193,000円(2022年4月予定)

※既卒者：最終学歴に準ずる

※試用期間3カ月(期間中も待遇に変更はございません)

■諸手当 通勤手当、時間外手当、昼食手当、子育て援手当 他

■昇給 年1回(4月)

■賞与 年2回(7月、12月)

■休日・休暇 休日 完全週休2日制 年間休日128日

休暇 有給休暇(入社時3日6カ月後7日付与、以降1年毎増加最高21日)、結婚、忌引、出産、リフレッシュ休暇等

■福利厚生 家族寮・独身寮(富津、和歌山)、借上社宅、保養所(京都市山科区、静岡県伊東市)、各種社会保険制度、退職金制度等、各種資格取得奨励制度(入社後に何らかの資格を取得した社員比率は82%)

■採用実績人数 2018年度7名、19年度6名、20年度8名



事務所作業風景

お問合せ先

■郵便番号 110-8547

■住所 東京都台東区上野 1-19-10

■担当部署 管理本部 総務部人事課

■担当者 中尾 直登(なかお なおと)

■TEL 03-3833-5101

■FAX 03-3833-6788

■e-mail saiyou@komaihaltec.co.jp

■求人用URL

<https://www.komaihaltec.co.jp/>



風車上にて(ロシア チクシPJ)

水面下から地球を支える



株式会社渋谷潜水工業

<http://www.shibuya-diving.co.jp>

◎会社紹介

■業務内容

1. グリーンな水中施工・調査
2. 水中バックホウによる高効率化施工
3. 各種ROVによる水中施工・調査
4. 海洋エネルギー発電の水中部施工・調査・メンテナンス
5. 洋上風力発電の水中部施工・調査・メンテナンス
6. 水中構造物と漁場・藻場づくり
7. 海の中の森(海藻)づくり
8. 海を活かした地域づくり

■設立 昭和55年11月9日

■従業員数 50名

■代表者 渋谷 正信



採用情報

■職種 潜水業務、海洋機器オペレーター

渋谷潜水グループでは、海洋エネルギー共生センターにて専門部署での海洋調査員・藻場調査員の募集もしています!!

■勤務地 【川崎営業所】神奈川県川崎市川崎区殿町 2-11-11

【五島営業所】

【湘南営業所】

※現場ごと 関東近郊 全国各地

■勤務時間 8時～17時 実働7時間

■給与 月給220,000円～

手取185,000円～

■諸手当 現場手当、資格手当、寮又は住宅手当

■昇給 年1回

■賞与 年2回

■休日・休暇 年末・年始・ゴールデンウィーク・夏期休暇 他

年間労働日数 280日(月平均23.3日)

■福利厚生 厚生年金、雇用保険、労災保険、制服支給、各資格取得援助

お問合せ先

■担当者 石澤

■TEL 044-277-6814

■FAX 044-277-3021

「自分自身の成長を望む人」を求む！ 環境企業としてSDGsに取り組む！



ENVIRONMENT

静和エンバイロメント株式会社

<https://www.seiwa-chemical.com/>

◎会社紹介

■業種 環境ビジネス

■環境分類 リサイクル&廃棄物処理

■業務内容

環境ビジネス、エコテクノ事業（省エネ・再生可能エネルギー販売）、リサイクル事業（産業廃棄物処理業）、清掃メンテナンス事業、電気工事業・管工事業

■会社概要

幅広い分野での環境ビジネスを行っています。省エネ事業は、企業様へのエネルギーコスト削減提案から環境プロモーションまでのトータルプランニングを行い、再生可能エネルギーの販売も行っています。リサイクル事業は、企業様から排出される廃棄物を専用車両で収集・運搬し、弊社工場で「安全化・安定化・減量化」に努め処理を行います。限りある資源をリサイクルすることで「循環型社会」を構築し、未来の環境のために廃棄物を100%再資源化ルートにのせることを目指しています。

弊社事業活動は、社会や環境保護に大きく関わっており、「SDGs」へ賛同し積極的に取り組んでいます。また、「再エネ100宣言 RE Action」に参加し、環境負荷の低減を目指しています。

■本社 静岡県静岡市駿河区豊田2丁目7番9号

■設立 1997年7月

■資本金 2,000万円

■従業員数 55名

■売上高 19億1,323万円

■代表者 代表取締役 和波 剛

■事業所 本社工場、豊田第一工場、豊田

第二工場、関東事業所（埼玉県新座市西堀）

■沿革

1997年7月 静和ケミカルサービス(有)設立

2002年12月 豊田第一工場稼働開始

2004年6月 株式会社に組織変更【静和ケミカルサービス(株)】

2005年1月 ISO14001認証取得

2006年1月 豊田第二工場稼働開始

2010年3月 エコテクノ事業部開設【省エネ事業】

2010年10月 本社・本社工場稼働開始

2011年9月 資本金2,000万円に増資

2011年10月 静岡県静岡市駿河区豊田に本社を移転

2013年6月 BCP企業継続計画策定

2014年12月 豊田車庫運用開始（給油施設完備）

2017年9月 豊田第二車庫運用開始

2017年11月 ISO14001-2015年度版認証取得

2019年1月 静岡市CSRパートナー企業認定・表彰

2019年2月 SDGs取組事項が外務省より認定・外務省HP紹介

2019年7月 関東事業所設立（埼玉県）

2019年12月 静岡市へ「SDGs宣言」

2020年6月 社名変更【静和エンバイロメント(株)】

2020年10月 「再エネ100宣言 RE Action」へ参加

採用情報

■職種 総合職（営業・業務・処理）

■勤務地 本社所在地と同じ

■勤務時間 8時30分～17時30分

■給与 200,900円（みなし残業：月32時間含む）

■諸手当 通勤費、資格手当、子供手当など

■昇給 年1回（6月）

■賞与 年2回（2カ月）

■休日・休暇 週休2日制（弊社カレンダーによる）

■福利厚生 財形貯蓄、退職金制度、表彰制度（永年勤続・業務表彰）、慶弔見舞金制度、介護・育児休業制度、資格取得支援制度、借上げ社宅制度（自宅通勤不可者）、提携リゾート施設優待利用制度、忘年会または新年会、社員旅行、各種レクリエーション 【特別福利厚生】生命保険、傷害保険（保険料会社負担、別途規定による）

■採用実績人数 2018年度6名、19年度5名、20年度6名

お問合せ先

■郵便番号 422-8027

■住所 静岡県静岡市駿河区豊田2丁目7番9号

■担当部署 管理部

■担当者 矢部喜広（やべよしひろ）

■TEL 054-266-3210

■FAX 054-202-3735

■e-mail yabe@seiwa-chemical.com

■求人用URL

<https://www.seiwa-chemical.com/graduate/>



静和エンバイロメント(株)本社社屋



若い社員が活躍中！教育も充実



女性営業マン打合せ風景

住みよい豊かな生活環境をめざして

一般財団法人日本環境衛生センター

<https://www.jesc.or.jp/>

◎会社紹介

■業種 専門サービス業

■業務内容

環境衛生の草分け的存在として、環境保全、廃棄物処理、環境生物の防除、国際協力など幅広い環境問題に総合的に取り組んでおり、身近な問題から地球温暖化等の大規模問題まで幅広い活動を行っています。東日本大震災をはじめ広島・常総の豪雨災害、熊本地震等、自然災害時には廃棄物処理、環境モニタリングなど、多面的に支援を行っています。

■会社概要

生活環境および地球環境の保全並びに生活衛生の確保に関する調査研究、普及啓発、

人材の育成および技術的支援等により、わが国および地球規模での環境の保全と快適な生活環境の確保を推進し、公共の福祉の増進に寄与し、未来に向けてより良い地球環境の創造に貢献することを目的としています。

■本社 神奈川県川崎市

■設立 1954年2月

■資本金 3億円

■従業員数 198名

■売上高 33億5,833万円

■代表者 理事長 南川秀樹

■事業所 神奈川県川崎市、福岡県大野城市、新潟県新潟市



本社外観

採用情報

■職種 総合職

■勤務地 神奈川県川崎市、福岡県大野城市

■勤務時間 9時～17時15分

■給与 大卒（川崎）186,200円、（福岡）177,400円

■諸手当 通勤手当、住宅手当（世帯主のみ）、家族手当 等

■昇給 年1回

■賞与 年2回（各期標準1.2カ月）

■休日・休暇 土・日・祝日・創立記念日

■採用実績人数 2020年度2名、19年度3名、18年度4名

お問合せ先

■郵便番号 210-0828

■住所 神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6

■担当部署 管理部総務課

■担当者 恩田（おんだ）

■TEL 044-288-4896

■FAX 044-299-2294

■e-mail saiyou2021@jesc.or.jp

環境就職ナビ 2022

環境ビジネス

会社合同説明会 & オンライン説明会

※本展は、コロナ対策を徹底の上、開催いたします。

※来場が難しい学生の皆さんも参加できます。(1社25分)

同時開催

会社合同説明会 開催概要

開催日：2021 **3/10水** 12:00~17:00

会場：科学技術館展示ホール
(東京都千代田区北の丸公園2番1号)

主催：環境新聞社

共催：EcoJob(株式会社エコジョブ・ドットコム)

来場者特典

環境新聞
「電子版」
説明会に来場で
半年間サービス

2022年に卒業或は就職予定の新卒者対象

入場無料 履歴書不要 入退場自由

詳しくはこちら→

環境就職ナビ2022

<https://www.ecojob.jp/gousetsu/newgraduates.html>



会場 科学技術館展示ホール

■電車でご来場の場合
・地下鉄東西線/半蔵門線/都営新宿線「九段下駅」下車
(2番・4番出口)より徒歩7分
・地下鉄東西線「竹橋駅」下車(1b出口)より徒歩7分

環境ビジネス <10分類>

a. 公害防止

b. 環境アセスメント

c. 環境測定分析

d. 再生可能エネルギー

e. リサイクル&廃棄物処理

f. 上下水、環境浄化&再生

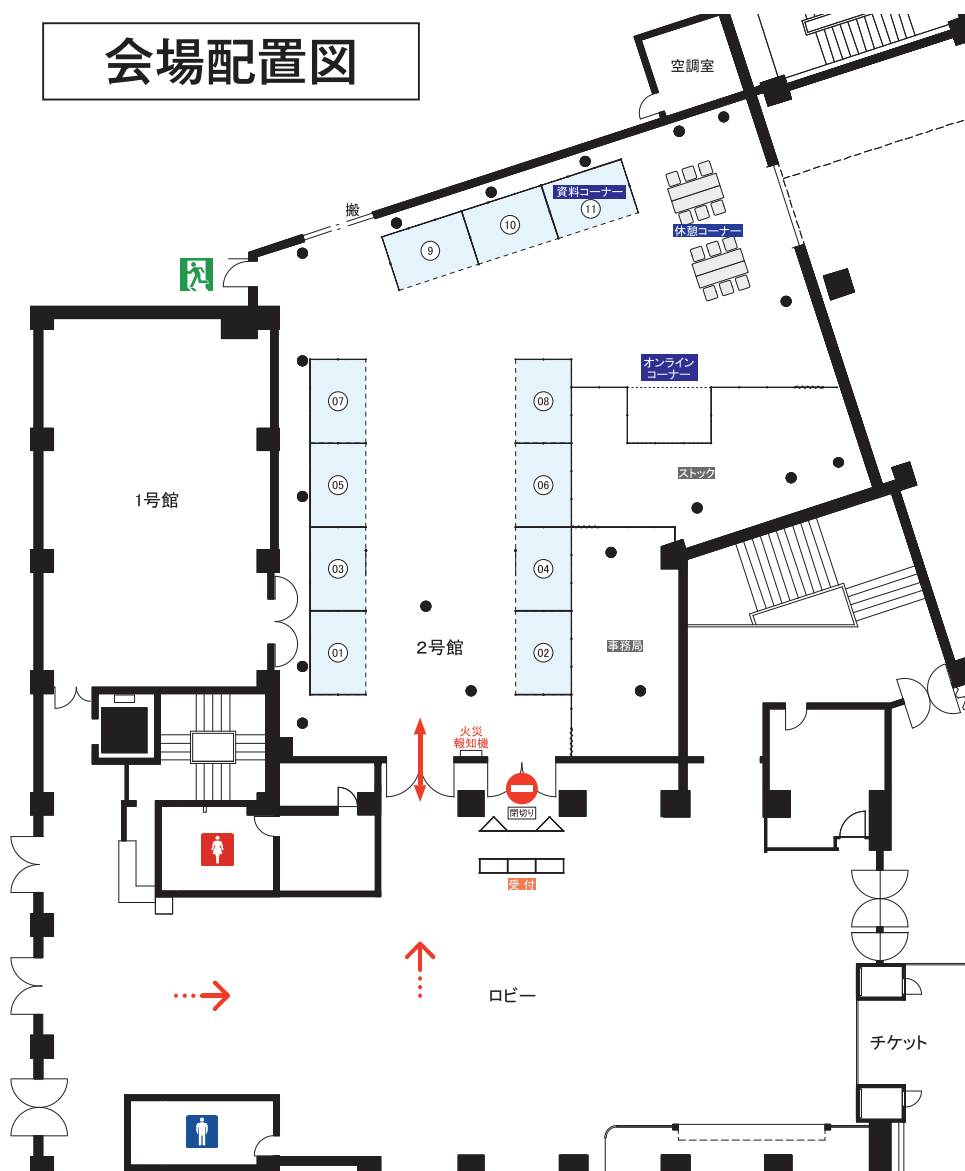
g. オーガニック

h. エコマテリアル&プロダクツ

i. グリーンビルディング

j. その他

会場配置図



参加企業一覧 (小間番号順)

①	アス・プランテック株式会社
②	株式会社 J E M S
③	管清工業株式会社
④	株式会社日吉
⑤	株式会社駒井ハルテック
⑥	株式会社渋谷潜水工業
⑦	ヤシマ工業株式会社
⑧	株式会社タクマ
⑨	静和エンバイロメント株式会社
⑩	一般財団法人日本環境衛生センター
⑪	資料コーナー